



SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内

TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日)

TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/

E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 24 年 5 月 9 日

第 3,024 回例会

NO 40

【本 日】会員数 75 名 (出席免除会員 25 名)・出席 53 名・免除者欠席 10 名・欠席 12 名・ビジター 2 名 ・出席率 70.67 %

【前々回】会員数 75 名 (出席免除会員 25 名)・出席 55 名・免除者欠席 8 名・欠席 12 名・メイクアップ 12 名・修正出席率 100.00 %

会 長 挨 拶

会長 梅村 良輔さん

ロータリーの友5月号に、第2740地区 岩永信昭ガバナーが「奉仕の理想を求めて」と題して、寄稿されていますので、抜粋してご紹介します。



国際ロータリーが毎年発刊する公式名簿 (official directory) の中に、以前は奉仕の理想についての簡単な説明が記載されていたようです。それによると奉仕の理想とは、他人のことを思いやり、他人のために尽くすと訳されています。

奉仕の理想という言葉は綱領をはじめ、いろいろなところで目にするのに、肝心の奉仕の理想とは何かという記載が『手続要覧』の中に見当たらないのです。全てのロータリアンがもうそのことは理解しているという前提に立って『手続要覧』も書かれているようにも感じます。

では、奉仕の理想とは何なのでしょう？ 故 佐藤千壽パストガバナー (第2580地区) の著によると、奉仕の理想の心とは、共存共栄にあり、と述べられています。

クラブの中である奉仕プロジェクトを立ち上げたとします。さまざまな苦勞がありながら無事成功に導き、地域の人たちから喜ばれました。打ち上げの席では一緒に参加した多くの会員の笑顔に囲まれています。これは一

例にすぎませんが、そこには確実に奉仕の理想が存在しているはずです。

このように奉仕の理想とは、いろいろな面でロータリアン一人ひとり、それぞれの心の中に宿るものなのではないのでしょうか。従って、こうであるという定義は難しいし、その必要もないのでしょうか。

奉仕の理想とは何か？ 絶えず自問自答しながら、それを実感、体感することを求めて、日々のロータリーライフを送ること、それすなわちロータリーだと思います。

ご連絡致します。本年3月30日に第40代佐世保地方総監として、吉田正紀^{まさのり}海将が着任されました。当クラブの名誉会員としてご入会いただきたく、本日15時お会いすることになっております。先日お会いした時は「喜んでご協力致します」と言っておられました。推戴状を持って田中丸幹事と2名で行って参ります。

例 会 記 録

○ロータリーソング「奉仕の理想」

○卓話者

松浦市教育委員会

文化財課長 中田 敦之様

○ビジター

佐世保東南RC

会長 池田 正喜さん

幹事 大野 満也さん

ごあいさつ

佐世保東南RC 会長 池田 正喜さん

先日の20周年記念式典には、梅村会長、米倉副会長にご参加いただき感謝申し上げます。また、武井パストガバナーには、会長挨拶のあとで、頑張ったねと声をかけていただき、ほっとしたことが印象に残っています。

今朝、タイで行われたロータリーの世界大会に出席し、帰国したばかりです。世界大会では、国際ロータリー会長に会うことは叶いませんでしたが、大阪北梅田ロータリークラブの次年度会長さんと出会い、そしてアユタヤに向かう船での日本語を学ぶ女性との出会いが思い出です。

本日は、ありがとうございました。



を開催しますので、関係者の方々におかれましてはご参加の程、よろしくお願い申し上げます。



ロータリー3分間情報

出席・例会委員会 中川 知之さん

テーマを何にしようかと、ロータリーの友4月号をパラパラとめくっていると、ロータリアンの3大義務という項目が目に入りました。「あれっなんだったっけ」と記事を読む前に自分で考えました。例会出席はまず1番目にくるだろう。その後は社会奉仕の理念を常に持って生きるとか、道徳的倫理観を根底に自己の職業を律するとか、そんな事かなと思いましたが全然違いました。それらの事は、4つのテストとか、5大奉仕の定義の中に入っているように思われます。



それでは、ロータリアンの資格を失わないための3大義務とは

1. 週1回の例会に出席する事

例会に出席できない時は、他のクラブの例会に本例会の前後2週間の間に出席するとメイクアップとして認められる。

出席率がメイクアップを含め50%を切るか、本例会の出席率が30%を切ると、理事会において当人の会員資格が剥奪される事がある。(出席免除会員の皆様には、このしぼりは当然ですがありません。)

ただ佐世保クラブにおいては90%を切っても理事会に呼ばれそうな雰囲気は新人の私達には致します。

2. 会費の納入

これは考えると当たり前で、組織を健全に運営していくためには必要な事だと思います。滞ると理事会において会員資格の剥奪もあります。

3. 雑誌の購読

例会に出席すると色々な雑誌、冊子、資料が個人のボックスに入っています。その中で、国際ロータリーから認定された機関誌、日本では月刊誌『ロータリーの友』がそれに当たります。この雑誌は会費の納入があれば毎月個人のボックスに山田さんが

幹事報告

幹事 田中丸善弥さん

1. 第2740地区ガバナー事務所

地区ホームページ更新のお知らせ

5月1日、2日、3日です。

2. 佐世保市身心障がい児(者)育成協議会会長

佐世保市教育委員会教育長

総会及び教育講演会の開催について(ご案内)が来ております。

日時/平成24年5月14日(月)

総会 14:00~14:45

講演会 15:00~16:30

会場/佐世保市総合教育センター1階
(佐世保市保立町)

講演会/演題「手でみる世界 ~私の歩いてきた道~」

講師 前長崎県立盲学校

教頭 久松 寅彦様

その他の報告

次年度副幹事 平尾 幸一さん

本日、セントラルホテル佐世保におきまして、17:00より期前理事会、18:30より大委員会

入れてくれます。ただ購読となっておりますので、もらうだけではなくちゃんと読むのも義務であります。

以上ですが、最初の頃、推薦者の円田さんから『中川君、どうや。ロータリーは例会出席が苦痛になったら続かんけん』と言われ、『大丈夫です』と答えましたが、少しきつかったのを憶えています。ただ、最近は例会に出席して、皆様にお会いするのが楽しみに思えるようになりました。

これからも、つたない私ではありますが、宜しくご指導お願い致します。

ニコニコボックス

親睦活動委員会 松本 由昭さん

佐世保東南RC

池田 正喜 会長、大野 満也 幹事

佐世保RCの皆さん、こんにちは！本日は2回目の表敬訪問に伺いました。よろしくお願ひ致します。又、先月の22日、我が東南RCの20周年記念式典におきましては、武井パストガバナ様はじめ、梅村会長、米倉副会長のご出席、誠に有り難うございました。何とか無事終える事が出来ました。有り難うございました。

梅村 良輔 会長、米倉洋一郎 副会長

佐世保東南RCの池田会長、大野幹事のご来訪を歓迎申しあげます。4月22日(日)に開催されました創立20周年記念式典並びに懇親会のご盛會、誠におめでとうございました。今後益々の貴クラブのご発展をお祈り申しあげます。

梅村 良輔 会長

松浦市教育委員会 文化財課長 中田敦之様の卓話に期待して。

浦里 和弘さん (元会員)

ご無沙汰しています。長崎本社に異動して、早1ヵ月が過ぎました。異動当初は、水曜日になると何だかソワソワした気分が抜けきらない状態でした。ただ、今でも、今頃美味しいお食事を、皆さんで召し上がっていらっしゃるんだなと懐かしく思い出しています。

先月、4月の結婚祝いの「おいしい品」が届きました。妻も「さすがに佐世保ロータリー

ね。おいしいね。」と、大きな口を開けていました。ちなみに、誕生日は8月です。

長崎にお越しの際は、是非、お声をお掛けください。佐世保ロータリーの今後のご発展と、皆様方のご健勝をお祈り致します。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

| | | |
|----------|------|----------|
| ニコニコボックス | 本日合計 | 8,000円 |
| | 累計 | 819,000円 |

卓 話

『国史跡「たかしまこうぎ鷹島神崎遺跡」』

松浦市教育委員会

文化財課長 中田 敦之 様



これまで、海の史跡として指定されたものは珍しく、海底の史跡についての研究や調査はほとんど例がありませんでした。そんな中、この度「鷹島海底遺跡」として、国の指定を受けることができました。

鷹島と松浦市は、佐賀県を通過して約1時間をかけてやっといけるという距離がありますが、伊万里湾をはさんで合併いたしました。

元寇、蒙古襲来については、鎌倉時代に2度攻めてきたのですが、2回目の襲来の際に、約4,400隻、14万人で攻めてきたところ、7月30日(現在の8月下旬頃)、台風が原因と思われるが、ほぼ壊滅してしまったという記録が残っています。

私は、昭和54年から県で、そして57年からは松浦市としての調査に参加してまいりました。そこで、この海底の遺跡が、そのときのものではないかと考え調査を進め、昭和56年に文化財保護法に基づく遺跡として登録をしました。まず、陸から200メートルの範囲を定めて、鷹島海底遺跡と名付けて保護を始めました。

平成24年3月21日には、その一部を国の史跡として「鷹島神崎遺跡」として指定を受けました。それは、これまで約30年間の調査の経緯と経過が認められたものと考えています。

調査を続ける中で、もしかしたら、ここで新たな史跡が見つかるのではないかと考え、5年間かけて伊万里湾のほぼ全域を調査しました。伊万里湾は、佐賀県と隣接していますが、長崎県側のみ調査し、平成22年度には、機械的調査に反応した場所に実際に潜って調査を実施しました。

船の形がみつき、23年の9月から10月の調査にて、船の中心の竜骨という部分だと判明し、このキールの部分が12メートルあるので、全体で20メートルの船だったと予測されています。本年も6月から10月にかけて、琉球大学の協力を得て、潜水しての調査を予定しています。

どうして元の船とわかったかという、その船の周辺から当時の元の遺物が多数見つかったことからの推測です。パンフレットの中の大碇を見ていただきたいと思います。この大碇の大きさから推測される船の大きさは約40メートルの全長があったと思われます。

これまで約4,000点の遺物が見つかり、どういった木でできたものかも調べることができ、中国の南部や、東南アジアの木材であったと推測されています。明らかに日本の国内では採れない木材ともわかっている品物も見つかりました。

出土した鉄製品には、最新技術の엑스線、CTなどを利用した検査を行っています。鉄兜などでは、もともとの鉄は残っていませんが、その周りの錆びが残っていることなどがわかってきています。

「てつほう」の実物も見つかり、その調査をし、殺傷能力の調査なども行っています。そのような科学分析を加えていくのも仕事の一つになっております。

現在、県の指定を受けている品物としては、管軍総把印などがあり、今後は、重要文化財の指定を目指しています。

船を陸揚げするには、数十億から百億円かかるとも言われています。それを保存に耐えるように加工するのに15年かかると予測されています。

これを陸揚げしても、どこに保存展示するのかなど、施設もなく財源もないので、もし揚げるとなると行政は破綻するかも？ともいわれるくらいの予算が必要となります。もしやるとしたら国家の事業として行わなければならないと思っております。

国も、重い腰を上げてほしいと思っておりますが、現在は、まだ東日本大震災で被害を受けた文化財の保護が優先になるので、なかなか難しい状況と思っております。

韓国や中国では、国家レベルの事業として、船の引き揚げを行っています。そしてプールに入れて調査を行うなどされています。

これは、松浦市でやれる事業ではないので、国に働きかけているところです。

西日本新聞に掲載している小学6年生や中学生向けに書いてきた記事のなかで、このような内容を記載しています。昨日最終話を掲載していますので、よろしかったらご一読ください。

鷹島に橋がかかって、訪れるお客様も増えたといわれておりましたが、初年度の勢いは保てていない状況です。入館料も減額しておりますので、ぜひ松浦市立鷹島歴史民俗資料館埋蔵文化財センターにお越しください。鷹島は「ふぐ」、そして「旬さば」、「旬あじ」もおいしいところです。是非お越しください。



元軍が武器として使用した「てつほう」(炸裂弾)
(鷹島歴史民俗資料館展示中)

次回例会予告

卓話予定者

会員 目黒 誠之さん

「東日本大震災を通じて感じた事」

(今週の担当：久富 洋一)

(カメラ担当：中村 徳裕)

クラブ会報委員会

委員長 中村 徳裕
副委員長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広
久富 洋一・佐藤 丈治